

センター事業活用事例

ワンストップ移動相談(創業支援)

長年の映像制作の実績を基に 広く秋田をPRする事業を起業



パソコン一台で完成度の高い編集作業を行う。

だいせん大曲ヴィジュアルエンタテインメント (DOVE)

映画やテレビの世界で長年映像制作に携わってきた生粋の映像人が、出身地の大仙市を拠点にして秋田の企業や文化の情報を国内外に発信する事業を始めた。着目したのはインターネットの有用性。コスト的にもテレビより勝り、海外までも視野に入れた情報伝達が大いに期待できる。

だいせん大曲ヴィジュアル エンタテインメント (DOVE)

〒014-0067 大仙市飯田字屋舗通227-10
Tel. & Fax. 0187-62-2365
<http://www.facebook.com/dove.novu>
E-mail novu3n@gmail.com

秋田の地で生かす映像制作の実績

本年10月1日に映像の企画制作と配信を行う「だいせん大曲ヴィジュアルエンタテインメント」を創業したばかりの西村宣之さんは、四半世紀近く映像関連の世界に身を置いてきた。最初は今村昌平監督のもとで映画制作に携わり、のちにフリーのテレビディレクターとしてNHKのドキュメンタリー番組の制作にも関わってきた。近年では、歌舞伎の中村勘三郎のニューヨーク公演のテレビ中継を手がけたりもした。

昭和60年に角館でロケを行った映画『君は裸足の神を見たか』は、今村昌平氏がプロデュースをし、西村さんが脚本を担当している。



YouTube「Life in the Wind AKITA」
秋田県の中小企業を応援するために鎌倉のアースボイスプロジェクトが制作したVTR。

センターから全面的な創業支援を

中央での活動が長かった西村さんが出身地の大仙市に拠点を移したのは、この10年ほどの間にご両親が相次いで亡くなり、生家を守る必要があったという、いわば“家庭の事情”による。

「今年の3月までは神奈川県鎌倉市に本社のある映像制作会社の秋田営業所長を務めていましたが、その会社が秋田から撤退することになり、それを機に自分は秋田に残って独立起業することにしました。」(西村さん)

ただ、映像制作はエキスパートであるものの、自らが事業主体になるのは未経験のため、あきた企業活性化センターのワンストップ移動相談を利用して起業に向けた指導を受けた。「事業計画書の書き方など、まったくゼロから指導していただきました。最初から法人化を急がないほうがいいというアドバイスももらいました。」(西村さん)



この日は地域の活性化に携わる人々への取材。撮影、音声、インタビューと一人役もこなす。(写真上)
撮影は主に動画機能付きのデジタル一眼カメラを使用する西村代表。(写真右)



インターネットの有用性に着目

西村さんが事業の軸にしようと考えているのは、インターネット上のユーチューブ(動画共有サイト)を活用して県内企業の情報を国内外に発信していこうというもの。既に、中国語字幕をつけた県内企業のPR映像をユーチューブに載せて中国から引き合いがあったという実績もつくっ



<http://www.facebook.com/dove.novu>

ている。

インターネットの長所をうまく生かせば、テレビよりもはるかに低コストで効率の良いPR活動が出来る。西村さんの手によって秋田の企業や文化が世界中に知られる日も近いようだ。



パネル
「未来への教科書」展
あの震災の直後、経済産業省の職員とともに被災地へ飛び、避難所で懸命に生きる子供たちを取材。一枚の写真にひとつのキャプションをつけ、絶望よりも希望が見えて来るようにパネルを作成。東京、仙台、秋田、オーストラリアで展示した。